



学校だより



2023年 4月28日
横浜市立港南台第一小学校
5月号

Email y3konan1@edu.city.yokohama.jp Tel 832-0210 Fax 832-7771
URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/konandai/>



伸びる芽をみんなで育てよう

校長 海老原 真

色とりどりのツツジが街に華やかさを添え、満開だった桜の枝には、今は柔らかい緑の若葉が生き生きと茂っています。

3年生国語の最初の詩は「わかば」です。

わかばを見ると おねが晴れ晴れする。
ぼくら子どもも ほんとは 人間のわかば。
天が、ほら。 あんなに晴れ晴れしている。
ぼくらを見まもって・・・・・・・・。



港南台第一小の若葉たちも、毎日晴れ晴れした笑顔で過ごしています。1年生の初めての給食準備はとても大変でしたが、週を追うごとに少しずつやり方を覚えて、こつこつと配膳に取り組む姿も見られるようになってきました。また、朝の集団登校の場面では、高学年の児童が、他の学年の児童に親切に声をかける様子も見られました。そして、6年生は、給食の時間から掃除の時間に1年生の教室を訪れ、手間のかかる片付けや清掃と一緒に進んで取り組み、その力を発揮してくれています。幼い子どもたちと関わることで、思いがけない子が面倒見良かったり、根気強かったりと、優しさや粘り強さなど新たな一面が育まれる様子を改めて感じる事ができます。4月は学校のいろいろな場面で、子どもたちの伸びていく芽を実感します。

子どもたちにとって4月のスタートは、新しい自分との出会いでもあります。こんな自分になりたいとめあてを立てて、自分自身が目指す目標に一生懸命取り組むと同時に、新しい友達や他の学年の人、先生などとの出会いが、今まで気づかなかった自分の一面を引き出してくれます。

その新しい自分が伸びる芽です。子どもたちは、皆、伸びる芽をもっています。しかし、その芽の成長はそれぞれに違います。急いで芽を出す子やゆっくりの子、ぐんぐん育つ子やじっくり少しずつ育つ子、どの子にもよさがあり、実りがあります。どの子も安心して成長できるように、そのよさを見つけ、励ましてあげるのが私たち大人の役割です。早く伸ばそうと無理やり引っ張れば、柔らかい新芽は簡単に折れてしまいます。それよりも、土の中に太いしっかりとした根を生やすことができれば、どの子も自信をもって歩いていけるはずです。私たち大人は地に足をつけ、晴れ晴れとした気持ちで、子どもたちの成長を見守っていききたいものです。

5月も、様々な行事を通して、一人ひとりが大きく伸びる機会があります。今月も子どもたちの伸びる芽がたくさん見られることを楽しみにしています。